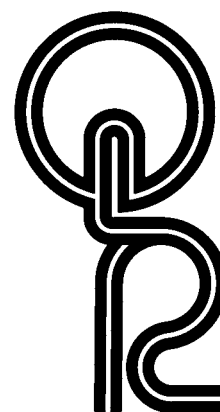


QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 28 No.6, 2021



2011年、長野県伊那市の中学校で校地拡張工事にともない約40年ぶりに出現した新期御嶽火山テフラの大露頭(寺平, 2013)。長野県南部のテフラ層の模式地の1つとして Kobayashi and Shimizu (1965) により当時としては珍しいカラー写真付きで報告された歴史的露頭である。(撮影: 竹下欣宏)

Vol. 28 No. 6

December 1, 2021

2022年大会案内(第2報)..... 2	「第四紀研究」早期公開論文のお知らせ..... 5
JpGU2022案内(第1報)..... 2 5
学会賞・論文賞等推薦のお願い..... 3	会員マイページ利用..... 6
「第四紀研究」送り状の改訂..... 5	執行部会議事録..... 7
	会員消息..... 8

◆日本第四紀学会 2022 年大会案内 (第 2 報)

日本第四紀学会 2022 年大会は以下の日程で開催予定です (会場の予約が 2022 年 3 月にならないと可能とならないため確定できませんが、現時点では以下の 2 つの日程を候補として検討しております)。

候補日①

- 8 月 27 日 (土) シンポジウム・普及講演会 (一般市民を対象)
- 28 日 (日) 一般研究発表 (口頭及びポスター) 評議員会
- 29 日 (月) 一般研究発表 (口頭及びポスター) 総会 懇親会
- 30 日 (火) 巡検

候補日②

- 8 月 28 日 (日) シンポジウム・普及講演会 (一般市民を対象)
- 29 日 (月) 一般研究発表 (口頭及びポスター) 評議員会
- 30 日 (火) 一般研究発表 (口頭及びポスター) 総会 懇親会
- 31 日 (水) 巡検

開催場所：静岡県地震防災センター

開催方法：完全対面、ハイブリッド、完全オンラインのいずれかの方式で、社会的な状況を見て判断する。

大会実行委員長：北村晃寿 (静岡大学)

実行委員：中西利典 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)、西岡佑一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)

◆日本地球惑星科学連合 2022 年大会 (JpGU2022) のお知らせ (第 1 報)

2022 年 5 月 22 日 (日) ~ 6 月 2 日 (木) に日本地球惑星科学連合 2022 年大会が、オンライン開催+現地開催のハイブリッド形式で開催されます。現地会場は幕張メッセです。日本第四紀学会では、これまでと同様に、「第四紀：ヒト—環境系の時系列ダイナミクス」を単独で、「活断層と古地震」、「自然環境と災害リスク」を他学会と共同で主催予定です。ほかにも第四紀関連セッションが多数提案される見込みです。会員の皆様の積極的な参加を期待しています。大会に関する詳細は http://www.jpгу.org/meeting_j2022/ をご覧ください。

日本地球惑星科学連合 2022 年大会 - JpGU2022

日時：2022 年 5 月 22 日 (日) ~ 6 月 2 日 (木)

【ハイブリッド期間】2022 年 5 月 22 日 (日) ~ 27 日 (金)

【オンラインポスターセッション】2022 年 5 月 29 日 (日) ~ 6 月 2 日 (木)

※ハイブリッド期間では、現地会場・オンライン両方で Zoom ライブ中継による口頭セッションを実施します。加えて、現地ポスター発表も実施する予定です。

オンラインポスターセッションにおいては、オンラインビデオ会議システムを用いてポスターの発表・議論を行っていただく予定です。

主催：公益社団法人日本地球惑星科学連合

※完全オンライン開催になる可能性があります。

※参加登録料、投稿料等は現時点で未定です。(2021 年 11 月 8 日現在)

【主な日程】

セッション提案 2021 年 10 月 1 日 (金) ~ 11 月 2 日 (火)

開催セッション公開 2021 年 12 月 10 日 (金)

コマ割公開 2021 年 12 月 14 日 (火)

投稿受付 2022 年 1 月 12 日 (水) ~ 2 月 17 日 (木)

発表プログラム公開 2022 年 3 月 24 日 (木)

◆ 2022 年日本第四紀学会学会賞・論文賞等の推薦のお願い

「日本第四紀学会会則」の第3条(3)に基づき、2022年日本第四紀学会学会賞(以下、学会賞)、日本第四紀学会学術賞(学術賞)、日本第四紀学会若手学術賞(若手学術賞)並びに日本第四紀学会論文賞(論文賞)、日本第四紀学会奨励賞(奨励賞)の受賞候補者の推薦募集を行います。前3賞は学会賞選考委員会が会員からの推薦をもとに受賞候補者を選考し、後2賞は論文賞選考委員会が会員からの推薦を参考に受賞候補者を選考します。最終的に2022年6月頃に開催される評議員会で受賞者が決定され、2022年大会で表彰される予定です。会員のみならず多数のご推薦をお待ちしております。

なお、推薦にあたっては、学会HPの「会則・規則」のページ(<http://quaternary.jp/intro/rules/rules.html>)に掲載されている「日本第四紀学会顕彰規程」及び関連する内規をご参照の上、下記に従って推薦書類をお送り下さい。また、過去に受賞した会員は、論文賞を除き同じ賞を受賞することはできませんので、学会HPの「歴史」のページ(<http://quaternary.jp/intro/history.html>)で歴代受賞者を事前にご確認頂きますようお願い致します。

1. 各賞の概要と推薦書類の記入内容

■ 学会賞・学術賞

学会賞と学術賞は、第四紀学の発展に寄与する研究や学会活動への貢献を行ってきた会員に贈られる賞です。

学会賞：第四紀学の発展に貢献した顕著な業績や活動および学会活動に貢献した正会員に授与。学会における最高の賞。毎年若干名。

学術賞：第四紀学の発展に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与。優れた編書、著書、論文などの一連の業績が対象。対象成果が複数の著書(研究グループ等を含む)によりなされた場合には、筆頭著者または代表者に授与。毎年若干名。

下記の情報を記した推薦書類を作成して、主要業績リストと併せて日本第四紀学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 学会賞の場合には、具体的な業績や活動内容を示した受賞件名
学術賞の場合には、授賞の対象となる一連の業績を含めた受賞件名
- (5) 推薦理由(1000字以内)

■ 若手学術賞

若手学術賞は国際誌等における研究発表を通して第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた若手会員(2022年4月1日時点で39歳以下の会員)に授与されるものです。受賞者数は若干名で、受賞対象は過去2年間の国際誌等に掲載された論文(オンライン化された論文を含む)の筆頭著者とします。受賞者には副賞として5万円の奨学金が授与されます。

下記の情報を記した推薦書類を作成し、推薦する論文のPDFとともに学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 推薦論文題目、論文が掲載された雑誌名および出版年月・巻・号・頁、またはオンラインの公開日及びDOI
- (5) 推薦理由(800字以内)

■ 論文賞・奨励賞

論文賞と奨励賞は、過去2年間に刊行された「第四紀研究」(第59巻第1号～第60巻第4号)に掲載

された論文と著者が対象となります。

論文賞：会員である論文著者全員に授与。毎年1～2件程度。対象は掲載された全ての論文(短報を含む)。

奨励賞：会員である筆頭著者に授与。年齢は2022年4月1日時点で35歳以下。毎年1～2件程度。

受賞者には副賞として5万円の奨学金が授与されます。

推薦書類には下記の情報を記し、学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 論文賞の場合には、全著者名と推薦論文名
- (4) 奨励賞の場合には、候補者名と推薦論文名
- (5) 推薦理由(1000字以内)

2. 推薦書類の送付先

各賞の推薦書類は、郵送または電子メールで日本第四紀学会事務局へ送付して下さい。送付先の住所ならびに送信先のメールアドレスは下記のとおりです。

郵送：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル

メールアドレス：daiyonki(at)shunkosha.com (“(at)”の部分を“@”に変えて下さい)

郵送の場合の宛名は、学会賞・学術賞・若手学術賞の推薦書類については、「日本第四紀学会 学会賞選考委員会」宛、論文賞・奨励賞の推薦書類については「日本第四紀学会 論文賞選考委員会」宛として下さい。電子メールの場合には、上記のそれぞれの宛先名を電子メールの件名に入力して送信して下さい。なお、PDF等のファイルを電子メールで送る場合、その容量が大きい場合(10MB以上)には、ファイル転送サービスを利用して下さい。

3. 提出期限

推薦書類の提出期限は、いずれも2022年2月28日(月)(必着)です。

◆「第四紀研究」送状の改訂

「第四紀研究」論文等投稿時の送状を一部改訂し、カラー印刷の希望等を記入する欄を設けました。今後の投稿では、最新ファイルを学会ホームページからダウンロードしてお使いください。

<http://quaternary.jp/journals/toukou3.html>

「第四紀研究（冊子体）」には第 61 巻 1 号（2022 年 3 月発行予定）に掲載する予定です。

（編集委員会）

◆「第四紀研究」早期公開論文 J-STAGE 掲載のお知らせ

このたび、次の論文が J-STAGE で早期公開されました。

会員の皆様は認証 ID・パスワード（購読者番号）を入力することでご覧いただけます。

認証 ID 等は会員マイページの「お知らせ」コーナーを参照ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaqua/advpub/0/_contents/-char/ja

・松浦秀治：世界文化遺産サンギラン遺跡の年代論争の終結に向けて—ジャワ原人はどこまで遡るか—
[2015 年日本第四紀学会学会賞受賞記念論文]

<https://doi.org/10.4116/jaqua.61.2108>

早期公開 2021 年 11 月 5 日

本論文の認証は「第四紀研究」掲載号(2022 年 3 月発行予定の第 61 巻 1 号)の冊子体刊行時に解除され、以後はアクセス・フリーとなります。

（編集委員会）

◆会員マイページの利用について

「会員マイページ」を利用して様々なことができるようになっています。

(1) 会員情報更新

住所、所属先、連絡先の変更などがあれば、会員自ら更新することができます。また、連絡先など公開してもよい項目は、チェックを入れることにより、会員限定で公開されます。なお、初期設定では氏名、会員区分、所属領域のみが公開となっていますので、必ず設定の確認・更新をお願いします。特に、所属機関名やその住所、メールアドレスなどの公開は会員間で連絡をとりたい場合に重要となりますので、公開をご検討ください。この公開情報は次項の会員名簿検索に反映されます。

(2) 会員名簿検索

会員の公開情報を検索・閲覧することができます。冊子体の会員名簿は廃止となりましたので、このコーナーを利用してください。

(3) 会費の確認

会費の納入状況を確認することができます。

(4) J-STAGE 閲覧のパスワード

J-STAGE で公開される「第四紀研究」の早期公開論文については、閲覧するのに認証が必要です。この ID (購読者番号)、パスワードは、冊子体の会員名簿に掲載していましたが、廃止に伴い、会員マイページ内の「お知らせ」コーナー内に表示しています。

(5) 総会資料公開

毎年 8 月頃に実施される日本第四紀学会総会の資料を閲覧することができます。「お知らせ」コーナー内に PDF を表示しています。

(6) 役員選挙

2 年毎に実施される役員選挙の届出書類、候補者リストなどは会員マイページ内に掲示されます。また、投票も会員マイページに入って行います。

会員マイページへは、日本第四紀学会ホームページ (<http://quaternary.jp>) トップにリンクが張られているほか、直接の URL は以下のとおりです。

<https://mypage.sasj2.net/site/jaqua>

会員番号 (会費請求書あるいは会誌・会報が入った封筒の会員宛名の下に書かれている 10 桁の数字) とパスワードを入力し、ログインしてください。パスワードをお忘れの方は、会員マイページの「パスワードをお忘れの方へ」をクリックして、会員番号と登録している電子メールアドレスを入力して送信すると、登録しているメールアドレスにパスワード変更用のアドレスが送られてきます。

不明な点がある場合や問題が生じた場合には、日本第四紀学会事務局までメールにてお問い合わせください。

(庶務委員会)

◆日本第四紀学会 2021 年度第 2 回執行部会議事録

日 時：2021 年 10 月 15 日（金）13:00～15:40

方 法：Zoom システムを用いたオンライン会議

出席者：鈴木毅彦（会長）、北村晃寿（副会長）、
須貝俊彦（副会長）、水野清秀（庶務）、
齋藤めぐみ（会計）、荻谷愛彦（編集）、
那須浩郎（広報）、工藤雄一郎（行事）、
山田和芳（渉外）、田村 亨（領域 1）、
堀 和明（領域 2）、海部陽介（領域 4）、
目代邦康（領域 5）

欠席者：卜部厚志（領域 3）

主な報告事項

- (1) 「学術情報・コミュニケーションのアクセシビリティに関する調査」（専修大学学術情報アクセシビリティ研究プロジェクト）に web 上で回答した。
- (2) 2 件の転載許可申請に対して承認した。
- (3) 2021 年 8 月 27 日から 29 日にオンラインで開催された 2021 年大会に関する費用を精算した。支出は 106,643 円。
- (4) 「第四紀研究」投稿論文の審査と編集を行った。10 月 12 日現在の手持ち原稿は、受理前 16 編、受理済 5 編（うち 1 編は早期公開済みかつ第 60 巻 4 号で冊子体配付予定）。
- (5) 2021 年大会特集号「近畿における歴史時代の自然環境と自然資源」（仮）の準備を開始した。趣旨説明を含め 8 編が投稿予定。また、2016 年領域 2「陸上の諸プロセス」シンポジウム特集号（その 2）（仮）の準備を進めた。
- (6) 2021 年 10 月 1 日に第四紀通信第 28 巻第 5 号を刊行した。
- (7) 2022 年静岡大会について、対面、ハイブリッド、完全オンラインのいずれも対応可能で、社会的な情勢をみて判断する。対面の場合、会場を静岡県地震防災センターとし、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共催、大会実行委員長：北村晃寿（静岡大学）、実行委員：中西利典・西岡佑一郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム）の体制で行うこととした。また、日程は 8 月下旬の 2 候補をあげ、調整中である。シンポジウムを半日または 1 日行うことを予定しており、大会最終日に伊豆半島の巡検、ふじのくに地球環境史ミュージアムでの半日ほどの見学の実施を検討している。
- (8) 日本地球惑星科学連合 2022 年大会のプログラ

ム委員として、山田和芳会員・小荒井 衛会員の 2 名を選出した。

- (9) 11 月 6 日、防災学術連携体の「ぼうさいこくたい」でのシンポジウム「防災教育と災害伝承への多様な視点」（オンライン）で、第四紀学会から西山賢一会員（徳島大）が講演することになった。
- (10) 特別委員会、顕彰規程等に関する検討委員会を立ち上げた。メンバーは以下の通り：池原 研（委員長）、高原 光（副委員長）、丹羽雄一、藤原 治、三田村宗樹、目代邦康、百原 新、三浦英樹、横山祐典（以上、委員）、オブザーバー：鈴木毅彦（会長）。9 月 26 日（日）に第 1 回会合が開催され、スケジュール確認、検討委員会審議内容確認、フリーディスカッションを行った。
- (11) 9 月 22 日に別府湾チームが Anthropocene Working Group (AWG) のワークショップにオンラインで参加した。加 三千宣会員が別府湾 GSSP のプロポーザルを発表した。今後、GSSP 審査に必要なデータのレビューを各チームが Anthropocene Review に投稿、AWG 内での GSSP 選定の投票が 2022 年内に行われる予定である。

主な審議事項

- (1) 2021 年度学会賞・学術賞・若手学術賞、論文賞・奨励賞の推薦締め切りを 2022 年 2 月 28 日（月）とした。また、名誉会員・功労賞候補者選考を含め、各選考委員会の答申締め切りは 2022 年 5 月 31 日（火）とした。
- (2) 会費や予算の長期的な使用計画について意見交換を行った。
- (3) 「投稿原稿用送り状」について、カラー図等の印刷方法と経費著者負担の確認欄、電子付録掲載希望に関する確認欄がないため、これらを追加し、送り状を改訂することにした。
- (4) 「第四紀通信」の年 4 号制への変更について、発行時期を含めて議論を行い、継続審議とした。
- (5) 会員 ML での配信内容をすべて HP に掲載することについて議論を行い、とりあえずはイベント関係など特定のものに限定することにした。
- (6) 2021 年学会賞・学術賞受賞者による講演会やシンポジウムを評議員会開催に合わせて行うことを検討することにした。

★★★ 情報発信を希望される方へお願い ★★★

日頃から日本第四紀学会のコミュニティへ情報提供くださり、ありがとうございます。提供された情報の円滑な配信を目指して、広報委員会から皆様へ、以下のお願いを致します。

- (1) 情報発信の手段として、ML の積極的な使用をお願い致します。
 - 1) メール本文に配信内容のタイトルと簡単な情報を書いて広報委員会アドレス (jaqua-koho(at)quaternary.jp) へご投稿ください。
メール本文の情報は常識的な長さでお願い致します。
 - 2) 広報委員会にて文言の微修正を行う、または投稿した方に情報の修正・追加をお願いすることがあります。
 - 3) イベント等の周知などで当該イベントの URL がある場合、その URL も載せてください (ただし上記の通り、メール本文にも簡単な情報も載せるよう、お願い致します)。
 - 4) 第四紀学にほとんど関連しないものについては配信をお断りすることがあります。
 - 5) 学会、研究集会のお知らせでも、第四紀学会の会員間で参加費等に不平等が生じるものは配信しませんので、ご了承ください。
 - 6) 添付ファイルは ML に配信致しません。
- (2) 第四紀通信への掲載依頼、日本第四紀学会 HP への掲載依頼も受け付けておりますが、基本的に、主催・後援イベントなど第四紀学会として会員に広く周知する必要があると認められる情報、「公募・助成」情報 (こちらは HP のみの掲載となります) 等に限られます。詳しくは広報委員会アドレス宛に、個別にご相談ください。
- (3) 第四紀通信の表紙用の写真 (または作成した画像) を受け付けています。詳細は第四紀通信 27 巻 6 号の巻末をご覧ください。
- (4) 第四紀通信は偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報をなるべく早く皆様にお届けできるように、奇数月下旬に版下が完成した段階でホームページに掲載していますので、ご利用ください。

日本第四紀学会広報委員会：那須浩郎・オブラクタ スティーブン フィリップ・丹羽雄一・竹下欣宏・小森次郎
広報書記：岩本容子・奥村公弥子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル
株式会社春恒社 学会事業部内
E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176